

長崎市立愛宕小学校
校長 中村 秀一郎
電話 826-6062

夢に向かって

教育目標 あたたかく たくましい 心と体を持ち、互いに学び合う児童の育成

梅雨雲に 熱中症 心痛む

梅雨の晴れ間が続き、ここ数日は本格的な夏を感じさせられます。熱中症とマスク着用への対応、どちらも子供の生命を脅かすものです。基本線は、学校ではマスクを着用して時間を過ごしますが、運動時や環境等（エアコン稼働もあり）によってはマスクを外すことを勧めていきます。感染レベルは引き下がっても、油断できません。

広助さん、来校



今年も山口広助さんに来校していただきました。毎年、毎年、忙しい中に時間をつくっていただいて感謝、

感謝です。今年は風呂敷の中に、子供たちに見せるお土産がありました。



なんと、天狗のお面です。お話によると、200年ぐらい経った物で、広助さんのお住まいがある地

元の神社（梅園身代天満宮）に祀られている天狗のお面の赤色の一体（もう一体は青色）を運んできてくださいました。

私も知らなかったのですが、天狗のお面にも「阿吽（あうん）」があり、赤色のお面は、口を開けた阿形（あぎょう）でした。

「阿吽」については、歴史の学習で「金剛力士像」として6年生で学習します。そして、狛犬（こまいぬ）や沖縄のシーサー、天狗にあるのには驚きました。

学校のスローガン、決まる



6月8日(火)の長崎新聞に次のような見出しで記事が掲載されています。

「コロナ禍 大人に相談しにくく」

新型コロナウイルス感染症の影響で、小中高生の半数が大人に相談しにくくなっている一。

2～3月、小学1年から高校3年を対象に調査し、約500人から回答を得た結果だそうです。記事では、「コロナウイルス対応の時間が増えたことにより、時間的・精神的な余裕のなさを子供が感じ、遠慮してしまっている」と分析しています。

子供が寂しさを感じなくてすむように、そして、相談したいときにいつでも味方になる大人が近くにいるように、心して子供との時間を過ごしていきたいと思います。御家庭で気づきがありましたら、何なりと連絡してください。同じ、子供の成長を願う大人として、手を取り合っていきましょう。

子供たちが考え出したスローガンに、子供の願いを感じてしまいました。朝から挨拶運動をしていると、登校してくる子供の表情にいろいろなことを考えさせられます。